

SFC 研究所ラボラトリ年次活動実績報告書

ラボ名称	プラットフォームデザイン・ラボ					
ラボ代表者	氏名	國領 二郎	所属	総合政策学部		
ラボ設置期間	2003年7月1日		～	2021年3月31日	17	年間

構成メンバー（提出時点）		
氏名	所属・職位	役割
國領 二郎	総合政策学部・教授	統括
村井 純	環境情報学部・教授	統括補佐
飯盛 義徳	総合政策学部・教授	地域経済自立化のプラットフォームと人材育成研究担当
秋山 美紀	環境情報学部・教授	ヘルスコミュニケーション研究担当
琴坂 将広	総合政策学部・准教授	プラットフォームの事業展開、国際化研究担当
野原 佐和子	政策・メディア研究科・特任教授	スマート・シティおよびMaaSの動向に関する調査研究担当
梅嶋 真樹	政策・メディア研究科・特任准教授	自律分散協調論に依拠した分散エネルギーシステム・分散無線通信研究担当
内山 映子	政策・メディア研究科・特任准教授	SFC周辺のまちづくりプラットフォーム開発、地域看護連携の研究担当
深見 嘉明	政策・メディア研究科・特任准教授	オープン標準プラットフォーム形成モデル分析の研究担当
WONG HEI YUI	政策・メディア研究科・研究員	サイバー文明研究に関する研究者プラットフォームの設計運営担当
小野塚 亮	政策・メディア研究科・特任助教	データ・セントリック開発を核としたオープン・コラボレーション研究担当
林 幹人	愛知学院大学経営学部・教授	組織内コミュニケーション・プラットフォームの研究担当
小川 美香子	東京海洋大学学術研究院食品生産科学部門・准教授	ID技術を活用した情報開示システム、トレーサビリティの研究担当
折田 明子	関東学院大学人間共生学部・准教授	インターネットを介した個人間の情報交換プラットフォームに関する研究担当
生貝 直人	東洋大学経済学部・准教授	知的財産権、情報法研究担当

年次活動実績報告

研究活動報告 （設置申請書，継続申請書の研究活動計画と対比するように記載してください。）

プラットフォームは、「誰もが明確な条件で提供を受けられる商品やサービスの供給を通じて、第三者間の取引を活性化させたり、新しいビジネスを起こしたりする基盤」である。例えば、OSやSNSはもちろん、WEBブラウザなどは、多くの企業や個人が他者とつながるプラットフォームであり、クレジットカードも多くの事業者と消費者をつなぐプラットフォームとなっており、プラットフォームは、多くのビジネスモデルや社会モデルに活用されている。

本ラボにおいては、各研究者が、各々のフィールドにおいて、プラットフォームの社会導入を推進し、そこでの課題発見とその解決を通じ一般化可能な新たな知見を得て、プラットフォームの設計に対する理論的な貢献を目指している。

○SFCキャンパスにおける分散エネルギーシステムの実証：ローソンSFC店のシステム開発とその運営
株式会社ローソンと共同し、9月23日（月・祝）に慶應義塾生活協同組合がオープンする「ローソン慶應義塾大学SFC店」において、VPPの実店舗化を実現した。本店舗では、他のVPP対応ローソン店舗と協調・集積し、電力需給調整市場等において取引可能な電力創出を実証している。また、店舗設備として設置される太陽光発電用システム、定置型蓄電池、電気自動車充放電器が地震や台風などの緊急時において効果的に活用される方策を実証している。

研究成果（学術論文、著作物、メディア露出等）

- ・ Jiro Kokuryo, Catharina Maracke, Toby Walsh (共著)、「AI for Everyone – benefitting from and building trust in the technology –」、AI Access, Jan. 28, 2020
- ・ 國領二郎「つながる時代の価値創造」、『経営の美德 –次世代リーダー育成塾-』、日本経済新聞出版社、2019年3月28日、p137-148.
- ・ 國領二郎「第2章 募集・選考にあたっての領域総括の考え方」、『人と情報のエコシステム研究開発領域2019年度公募要項』、科学技術振興機構社会技術研究開発センター、2019年5月、p10-11.
- ・ 國領二郎「5Gのビジネスチャンス」『5Gが再編する未来社会』、月間事業構想、2019年4月号、p26-27.
- ・ 梅嶋真樹「需要家側VPPシステム～計測の正確性が信頼を生むスケラブルシステム」、電気学会誌、Vol139No3、2019年5月、pp148-150
- ・ Masaki Umejima “Cyber Security Guideline for Japanese VPP System: convergence of IoT and an energy system”, 5th France-Japan Cybersecurity workshop, Kyoto, Japan, April 23-25, 2019.
- ・ Masaki Umejima “Cyber security design: framework and implementation in virtual power plants”, Security CONF 2019, Kuala Lumpur, Malaysia, July 3, 2019.
- ・ Masaki Umejima “The physical-cyber security framework:Convergence of an open system and cyber security”. International Conference on Advances in Cyber Security 2019, Kuala Lumpur, Malaysia, July 30, 2019.
- ・ 林幹人「小企業のための「第三の場」の構築と運用」、日本情報システム学会中部支部総会特別講演(愛知工業大学)、2019年5月10日.
- ・ 野上和子・小川美香子、「輸入事業者A社におけるスリランカ紅茶の流通構造と品質管理」、日本フードサービス学会第24回年次大会プログラム、pp.15、2019年6月5日（東京海洋大学、東京都港区）
- ・ 生貝直人「通信分野の個人情報保護と利活用：プラットフォームによる/に対する/を通じた統治」 Monthly jurist (1534), 26-31, 2019-07, 有斐閣
- ・ Yoshiaki Fukami and Yoshimasa Masuda. Success Factors for Realizing Regional Comprehensive Care by EHR with Administrative Data. In: Yen-Wei Chen, Alfred Zimmermann, Robert J. Howlett and Lakhmi C. Jain (eds). Innovation in Medicine and Healthcare Systems, and Multimedia: Proceedings of KES-InMed-19 and KES-IIMSS-19 Conferences, Smart Innovation, Systems and Technologies, Vol. 145, pp. 35-45, Springer Singapore, 2019.